



お風呂やトイレに入っていて、地震が起きたときはどうするの

すぐにドアや窓を開ける

地震が起きたとき、風呂やトイレの中は、安全だといわれています。風呂やトイレは、落ちてくるものが少なく、せまい場所のわりには、柱やかべにささえられているので、地震に対して、わりあいにこわれにくくなっています。

ふつう、風呂やトイレは、入り口がひとつしかないので、閉じこめられやすい場所に、なっています。

地震で家がかたむくと、風呂やトイレのドアが、開かなくなることがあります。閉じこめられて、出られなくなったら、たいへんなことになります。風呂やトイレの中にいるときに、地震が起きたら、すぐにドアや窓を開けます。

すばやくにげる

地震が起きたときに、火を使っていると、火事が起こりやすくなります。風呂場で火を使っているときは、すぐに火を消します。また、危険がせまって、にげなければならないときは、いそいで、下着をつけるだけにして、すばやくにげます。

服を全部着てからでも、間に合うだろうと思っていると、命とりになることが、あります。じゅうぶんに、気をつけましょう。（監修・国司 真）

